

令和 5年度予算見積調書

課室名：義務教育指導課
 担当名：学力向上推進・学力調査担当
 内線：6779 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
P53	AIを活用した学びの実践研究事業			一般会計	教育費	教育総務費	教育連絡調整費	指導内容研究推進費			
事業期間	令和元年度～ 令和5年度	根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第48条		針路	05	未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4, 9, 17		
					分野施策	0501	確かな学力と目立する力の育成	SDGsターゲット	4-1, 4-3, 4-6, 4-a		
1 事業概要 新学習指導要領では、児童生徒や学校の実態に応じた指導方法や指導体制の工夫改善による個に応じた指導の充実を図ることが求められている。また、令和3年1月26日付け中央教育審議会答申によると、個別最適な学びを目指すことが求められている。埼玉県学力・学習状況調査の結果をAI(人工知能)で分析することにより、個に応じた指導及び個別最適な学びの実現を目指す。 AIを活用した学びの実践研究事業 23,672千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 埼玉県学力・学習状況調査結果のAIによる分析 既に蓄積されているビッグデータである埼玉県学力・学習状況調査の教科に関する調査データや質問調査のデータを組み合わせて、AIによる分析を行う。 イ 個に応じた指導及び個別最適な学びの実践研究 AIによる分析結果を活用し、児童生徒一人一人の学力や学習状況などに応じた個別アドバイスシート、学級別アドバイスシート、個別学習教材の提供を行う。 また、実証校において、作成したアドバイスシートなどを活用して個に応じた指導及び個別最適な学びの実践研究を行う。 ウ 個別学習教材の問題の拡充 個別学習教材に国語、算数・数学の問題を掲載する。 エ 市町村への周知 市町村に対し事業効果等を周知する。 (2) 事業計画 令和元年度～ 埼玉県学力・学習状況調査結果データのAI分析 分析結果を活用した成果物作成のためのシステム構築、実証校での実践研究 (3) 事業効果 ア 児童生徒個々の学習理解度に応じた適切な指導方法や教材などの提示。 イ 個に応じた指導(生活指導・学習指導)及び個別最適な学びの実現による児童生徒の学力向上などの支援。							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.6人=5,700千円											
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比		
決定額	23,672							23,672	△167		
前年額	23,839							23,839			

事業内訳書

事業名	AIを活用した学びの実践研究事業		
単位事業名	AIを活用した学びの実践研究事業	予算額	23,672千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	72	△39	学校との打ち合わせ、現場訪問等 3人×15回×1,600円
委託料	23,600	0	AI等を活用した個に応じた指導の研究
合計	23,672	△39	